

- 01 一般工業用
圧力調整器
- 02 分析機用・半導体用
圧力調整器
- 03 ガス供給ユニット・
集合装置

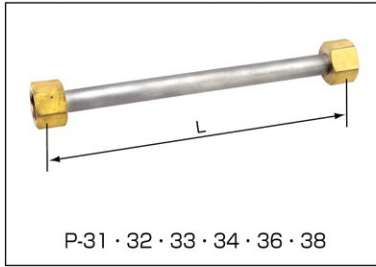
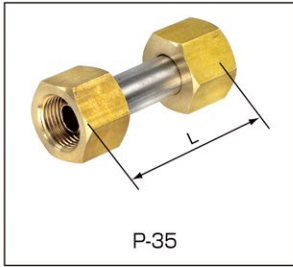
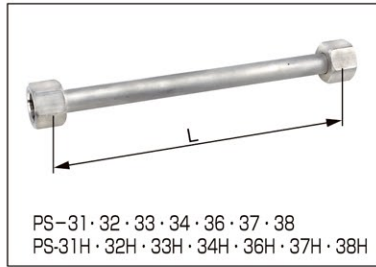
04 ガス供給ユニット・ 集合装置関連機器

- 05 その他装置
- 06 液化ガス蒸発器
- 07 自動切替
減圧弁・装置
- 08 高圧ガス用継手
- 09 溶断器・
アクセサリ
- 10 計 器
- 11 参考資料・データ

- 連結管(銅管)
- 連結ホース
- 連結管(ステンレス管)
- 連結管(ステンレス管
ネジレンナット仕様)
- パーリアッセンブリ
- 銅連結管
(カードル用φ16・φ12)
- ガス用
フレキシブルホース
- I型継手・
エンドキャップ・
エンドナット
- 集合管
- T字管・U字管・L字管・
T字型逆止弁
- 高圧バルブV3-01-02-03
- 高圧バルブHMV-9-22
- 超高圧バルブHV-4-6-9
- ネックバルブ(真鍮)
- ネックバルブ(ステンレス)
- 取出口バルブ
- ヘッダー
- Air作動弁
AV-22・MAV-30
- Air作動弁AV-20
- 小型ストレーナST-MS
- 超高圧ストレーナ
HST-LST-1S-50
- ストレーナ
- 逆止弁HCV
- 小型高圧逆止弁CVR-CVV
- 超高圧逆止弁HCV-5-6
- 安全弁YSV・YSVN
- ガス加温器YK
- 配管用乾式安全器
- 逆火とめ太郎
- 水素用乾式安全器
- ハイセキュアHy-Secure
- 背圧弁BPR-6S-6SP
- 背圧弁HBPR-1S・
BPR-7S
- 警報ボックス
- 自動切替制御盤
- タッチパネル
- 自動切替制御盤

集合管

〈用途〉 集合装置用部品で機器と機器を接続するための管です。



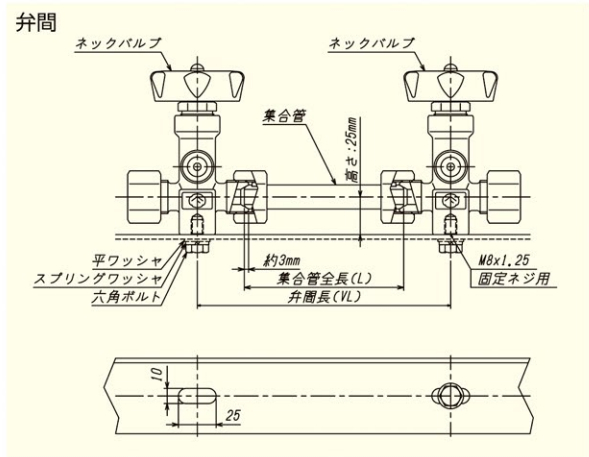
タイプ	標準	Class30MPa
最高使用圧力	20MPa	30MPa
設計圧力	21.6MPa	32.4MPa
耐圧試験圧力	27MPa	40.5MPa
気密試験圧力	23.8MPa	35.7MPa
設計温度	-10~40℃	

パーツNo.	主な用途	接 続	全長 (L) (mm)	弁間長*4 (VL) (mm)	材 質	寸 法 (mm)	質量 (g)	標準納期	
真鍮タイプ	P-31	酸素ネックバルブ用	238	300	SUS304TP	外径16 内径10	420	受注後3日	
	P-32	切換バルブ用 大	108	170			290		
	P-33	アセチレンネックバルブ用	288	350			470		
	P-34	切換バルブ用 小	78	140			260		
	P-35	(P)-(R)当り用 ※2	W22-14(右)袋ナット	62 (PTFE パッキン含む)	-		SUS316	230	受注後1週間
	P-36	LGC用 ※1、*3	W22-14(右)袋ナット(R)	538	600		SUS304TP	750	
	P-38	元弁取付用	88	150	270				
	ステンレスタイプ	PS-31	酸素ネックバルブ用	238	300		SUS304TP	外径16 内径10	
PS-32		切換バルブ用 大	108	170	260				
PS-33		アセチレンネックバルブ用	288	350	440				
PS-34		切換バルブ用 小	78	140	230				
PS-35		(P)-(R)当り用 ※2	W22-14(右)袋ナット	62 (PCTFE パッキン含む)	-	SUS316	200		受注後1週間
PS-36		アンモニア用	358	420	520				
PS-37		LGC用 ※1、*3	W22-14(右)袋ナット(R)	538	600	SUS304TP	710		
PS-38		元弁取付用	88	150	240				
ステンレスタイプ Class 30MPa	PS-31H	酸素ネックバルブ用	238	300	SUS304TP	外径16 内径9	420	受注後3週間	
	PS-32H	切換バルブ用 大	108	170			280		
	PS-33H	ネックバルブ用	288	350			470		
	PS-34H	切換バルブ用小	78	140			240		
	PS-38H	元弁取付用	88	150			250		

※ (R)はメタル当り(P)はパッキン当りを表します。
認定品の納期は、標準納期のプラス7日となります。

⚠ 注意

- ※1 P-36、PS-37は熱収縮する為1本で使用して下さい。2本以上集合する場合はご相談下さい。(施工例は、下記をご参照下さい。)
- ※2 P-35、PS-35は、認定機器製作不可となります。



⚠ 注意

- ※3 P-36、PS-37のLGC用は、低温で熱収縮するため、完全に固定した状態でガスを流すと接続部から洩れる恐れがあります。洩れを防止するため、バルブ固定孔を長孔にしておき、固定ビスは、手締程度に締め付けて下さい。強く締め付けしないで下さい。P-36、PS-37以外でLGCをご使用になられる場合でも、同様に施工下さい。
- ※4 記載の弁間長は、ネックバルブ (P267~270) 使用時です。高圧バルブV3 (P265) 使用の場合、弁間長は、異なります。